

# ぎがしり月報

加古川市議会事務局

内線3721 ~ 3723 平成15年12月5日 374

## 第5回市議会臨時会を開催

第5回市議会臨時会は11月25日に開催され、市議会議員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例など、市長提出議案5件の審議が行われ、すべて原案のとおり可決、承認され、同日閉会しました。

## 11月21日、各常任委員会を開催

### 総務常任委員会

#### ～報告事項～

#### 適正価格審議委員会について

第5回市議会臨時会及び第6回市議会定例会  
上程予定案件について

#### ～質問事項～

#### 防災体制（津波対策）について

#### 衆議院選挙における人為的ミス等について

#### 地域防災力危機管理機能評価指針について

#### 建設水道常任委員会

#### ～報告事項～

#### 専決処分の報告について

#### 東加古川駅橋上化等の進捗状況について

#### 第6回市議会定例会上程予定案件について

#### 公共下水道整備方針について

#### 公共下水道運営審議会の答申について

#### 水道事業の今後の経営方針について

#### 福祉厚生常任委員会

#### ～陳情審査～

#### 陳情第8号 高齢者の高額医療費制度の改善 について

委員から「陳情事項6項目のなかには市の努力だけでは実現困難な項目も含まれており、制度自体に起因する問題であることから、改善を求める意見書を国へ提出すべきである」との採択を求める意見や「陳情項目のうち、事前申請

を徹底することについては既に本市において実施済みである。また、市に運営の改善を求める3項目については、システムや事務手続き上の問題等から現状においては実現が困難である。制度自体の改善に関する2項目については、確かに現行の高額医療費制度は問題点を含んでいるが、特に老人医療制度の運営に支障をきたしていると言えず、きめ細やかな対応を行うなど、現行制度内でのさらなる運用改善に努めることにより解消が可能と考える」との不採択の意見がありました。

委員会は、採決の結果、賛成少数で不採択と決定しました。

#### ～報告事項～

#### 第6回市議会定例会上程予定案件について

#### 専決処分の報告について

養護老人ホーム永楽園の民設民営化に向けた  
取組みについて

#### ～質問事項～

#### 尾上地区における地下水汚染について

#### 尾上地区における産業廃棄物処理施設計画について

#### 心身障害児総合通園センター建設事業について

#### 文教経済常任委員会

#### ～報告事項～

#### 「学力問題」について

#### 不登校の現状について

#### ～質問事項～

幼稚園統合に係る山手地区3園の募集状況及  
び入園予定者に対する説明状況について

幼稚園2年保育（4歳児学級）の募集状況に  
ついて

義務教育国庫負担制度に関するアンケートへの  
対応について

## 決算審査特別委員会を開催

10月14日

<市民部、福祉部所管部分>

### 総務費

生活対策費の加古川地区防犯協会負担金1,011万2,446円及び暴力と交通事故をなくす住民決起大会に係る負担金100万円の効果を質問したのに対し、理事者から「1市2町の行政と自治会、企業等がともに連携を図りながら、パトロールやキャンペーン、各種啓発活動等を行っているほか、暴力と交通事故をなくす住民決起大会を年に1回開催し、住民の断固とした意思表示を行うことによって犯罪や交通事故の抑止、暴力団等の排除に効果がある」との答弁がありました。これに対し、他の委員から「効果が薄れてきたものもあることから、新たな事業を展開するなど、より効果的な防犯、交通安全対策に取り組んでもらいたい」との要望がありました。

### 民生費

貸付金元利収入のうち、住宅資金貸付金回収事業における収入未済5億3,295万9,074円について、委員から「個々の滞納者の状況把握につとめ、返済の可能性がある者については粘り強く交渉するとともに、返済意欲が見られない者や居所不明者、破産者等については法的処理を行うなど、さらなる債権回収を図りたい」との要望がありました。

児童福祉費のうち、児童福祉総務費の児童相談事業について、児童虐待に関する相談件数を質問したのに対し、理事者から「身体的虐待14件、ネグレクト12件、心理的虐待4件、性的虐待1件、合計31件の相談があった」との答弁がありました。これに対し、他の委員から、虐待防止に向けた取組みを質問したのに対し、理事者から「14年12月に児童虐待防止推進会議を設置し、医師会、学校園をはじめ地域全体で連携を図りながら啓発と連絡体制の整備に努めている」との答弁がありました。

肢体不自由児通園施設費の委託料について、

284万7,577円が不用となった理由を質問したのに対し、理事者から「主な要因は、つつじ園・つつじ療育園の敷地内において心身障害児総合通園センターを建設すべく、土質調査の予算を計上していたが、建築確認申請の要件が整わないこと、また財政状況等の問題から、同敷地内での施設建設を見送ることとしたためである」との答弁がありました。これに対し、他の委員から「本施設については、以前にも計画変更があったことから、十分な事前調査を行い、慎重に計画をたててもらいたい」との要望がありました。

### 国民健康保険事業特別会計

出産費資金貸付金1,026万円について、利用状況を質問したのに対し、理事者から「制度が徐々に周知されてきたことに加え医療機関においても制度の紹介が行われていることから、利用者は増加し、高額な出産費用が負担となっている方に効果的に活用いただいている」との答弁がありました。

委員会は、採決の結果、賛成多数で原案認定と決定しました。

### 介護保険事業特別会計

委員から「保険料が高く、低所得者層にとって過度の負担となっていることから、さらなる減免制度の拡充が必要である。よって本決算は認定できない」「必要以上の機能を持った福祉用具の選定や高額なリース料金の設定も見受けられることから、制度の適正な運用に努められたい」などの意見、要望がありました。

委員会は、採決の結果、賛成多数で原案認定と決定しました。

10月22日

<地域振興部、環境部、都市計画部所管部分>

### 総務費

使用料のうち、総務使用料の市民会館使用料2,972万2,351円について、減収となった主な要因を質問したのに対し、理事者から「現在の経済状況が大変厳しいことから、会館を使用した催し物が減少するとともに、従来、大ホールで

開催していた行事を中ホールで行うなど、利用形態が縮小化していることも要因である」との答弁がありました。

## 衛生費

使用料のうち、保健衛生使用料における小動物火葬炉使用料351万6,000円について、火葬件数を質問したのに対し、理事者から「市内1,678件、市外40件、合計1,718件の火葬を行った」との答弁がありました。これに対し、委員から「現在の使用料は、小動物の重さに関係なく1件あたりの単価設定となっており不公平な面があることから、従量制の単価設定としてもらいたい」との要望がありました。

保健衛生費の環境衛生費における委託料のうち、緊急雇用創出環境美化推進事業132万3千円の効果を質問したのに対し、理事者から「厳しい雇用状況のもと、不法投棄ごみ収集運搬業務、並びに公園等の公共スペースを中心とした巡回業務について社団法人加古川市シルバー人材センターへ委託して実施し、90カ所で合計2万7,700キログラムのごみを回収することができた」との答弁がありました。

清掃費の清掃総務費における負担金補助及び交付金のうち、ごみ減量化推進事業871万400円の効果を質問したのに対し、理事者から「コンポスト等の容器195基、電動式生ごみ処理機304台の購入に対して補助を行い、94トンの減量効果があった」との答弁がありました。

## 農林水産業費

農業費のうち、農業委員会費における旅費92万1,290円が不用となった理由を質問したのに対し、理事者から「行政改革の一環として委員の行政視察を見直し、3年に1回としたことから、14年度については実施しなかったためである」との答弁がありました。

## 商工費

商工費のうち、商工業振興費における加古川イルミネーション事業委託料1,000万円の効果を質問したのに対し、理事者から「本市の玄関口の夜景を華やかに演出することに加え、商店街

の活性化にも寄与するため本事業を展開している。来訪者へのアンケートを実施したところ、『非常にきれい』『まちとして華やかな感じがする』など好感を持った回答が多かったことから、まちのイメージづくりといった点では効果があった」との答弁がありました。

商工業振興費の貸付金5億2,200万円が不用となった理由を質問したのに対し、理事者から「厳しい経済情勢のなか、中小企業の経営基盤は脆弱であることから、常時対応できるよう融資枠を確保していたが、結果として貸付が少なかったためである」との答弁がありました。

10月28日

<建設部、都市計画部、下水道部所管部分>

## 土木費

道路橋梁費の道路橋梁総務費における南北道路整備事業の公有財産購入費2億633万1,693円について、市道加古川中部幹線整備事業用地の取得状況を質問したのに対し、理事者から「全体の進捗率は56パーセントとなっており、そのうち個人所有地については約80パーセントの用地取得が完了している」との答弁がありました。

都市計画費の都市計画総務費における都市景観形成事業の委託料322万2,450円について、屋外違法広告物の除去状況を質問したのに対し、理事者から「店頭の違法広告物については是正指導を行っているが、道路上に設置され、設置業者の特定が困難なものについては、是正指導ができないことから、市において撤去を行っている」との答弁がありました。これに対し、委員から「設置後、そのまま放置する例も数多く見受けられることから、設置業者を特定し指導してもらいたい」との要望がありました。

緑化推進事業費における緑化推進事業委託2,649万582円について、財団法人加古川市公園緑化協会に委託した理由を質問したのに対し、理事者から「公園緑化協会は、地域での緑化推進を担うリーダーの育成など、本市の緑化推進の中心的な役割を果たしていることから、公園の維持管理、緑化の重点的な推進を図るうえで非常に

効果があると考えている」との答弁がありました。

公共下水道事業特別会計

委員から「企業債の償還が大きな負担となっている経営状況のもと、今後、多額の経費を要する市街化調整区域の面的整備に取り組もうとしているが、一律に流域下水道事業として整備するのではなく、場合によっては合併処理浄化槽を効果的に活用するなど、経済的で利便性の高い生活排水処理を行ってほしい」との要望がありました。

委員会は、採決の結果、全会一致で原案認定と決定しました。

11月4日

<消防、教育委員会所管部分>

消防費

東消防署野口分署整備に関連して、市全体の消防体制と人員配置を質問したのに対し、理事者から「野口分署の開設に伴い、火災現場への平均到着時間は、14年度では5分24秒であったものが15年度上半期で3分41秒と大幅に短縮されており、着実に消防体制の整備を図っている。また人員については、行革緊急行動計画を踏まえ、定数327名に対し現員309名となっているが、効率的かつ効果的な配置を行い、さらなる消防力強化に努めていきたい」との答弁がありました。

教育費

教育総務費のうち、事務局費の旅費152万5,880円が不用となった主な理由を質問したのに対し、理事者から「学校園と市との間の文書收受等については、従来、各学校園の用務員が私有自動車を利用していたことから、それに伴う旅費が必要であったが、交通事故の問題や経費節減等の観点から、市長部局の連絡便を活用することとなったためである」との答弁がありました。

中学校費のうち、教育振興費における緊急雇用創出不登校指導補助員配置事業1,791万4,670円について、効果を質問したのに対し、理事者から「不登校児童生徒については、多い時で360

名程度であったが、本事業によるきめ細やかな指導等により200名程度に減少した」との答弁がありました。これに対し、委員から「不登校指導補助員をはじめ緊急雇用創出事業については、14年度から3カ年の補助事業となっているが、事業効果を検証し、必要なものについては、17年度以降も継続して実施してほしい」との要望がありました。

社会教育費のうち、家庭教育費の負担金補助及び交付金205万8千円が不用となった理由を質問したのに対し、理事者から「留守家庭児童対策事業のうち、別府小学校区が14年度よりPTA補助方式から市直営方式となったため、不用となったものである」との答弁がありました。

以上、一般会計歳入歳出決算については、5回にわたり審査を行い、採決の結果、賛成多数で原案認定と決定しました。

来加状況(11月)

12日(水)	愛知県豊田市議会	8名
	(健康づくり活動の推進について)	
13日(木)	福岡県前原市議会	5名
	(ウェルネスパークについて)	
17日(月)	姫路市議会	17名
	(鉄道高架事業について)	
18日(火)	群馬県伊勢崎市議会	5名
	(駅北区画整理事業 ・連続立体交差事業について)	
20日(木)	佐賀県佐賀市議会	2名
	(ほ場整備と土地区画整理事業を一体化した取組みについて)	
28日(金)	北海道函館市議会	1名
	(PFI事業による公共施設整備について)	

\*\*\*12月の行事予定\*\*\*

2日(火)	第6回市議会定例会(第1日)
3日(水)	"(第2日・一般質問)
4日(木)	"(第3日・一般質問)
5日(金)	各常任委員会
12日(金)	第6回市議会定例会(第4日) 会派代表者会 議会運営委員会